

シーン - 10 新しい植林対策事業

事業目的

造林未済地等に花粉の少ないスギの植栽や低コストな手法による植栽を進め、森林の公益的機能の向上を図ります。あわせて、花粉の少ないスギの生産施設を増設し、花粉症対策苗を増産し、花粉の発生源対策に寄与するとともに、被災した海岸防災林の復旧に使用する松くい虫被害抵抗性マツ苗等を増産し、海岸防災林の早期復旧を図ります。

事業効果

CO₂年削減効果

144t-CO₂

事業内容

平成26年度事業費 24,000千円

造林未済地等への花粉の少ないスギ等の植栽及び塩害・山火事跡地等への植栽，低コストな手法による植栽に対して補助

事業主体 市町村・森林組合・林業事業者等

【平成26年度事業】

事業量 植栽面積約20ha

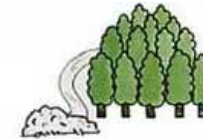
補助額 定額(1ha当たり100万円以内)

被災した海岸防災林の復旧に使用する松くい虫被害抵抗性マツ苗等の増産



ha当たりの土砂流出量

森林
2ト/年



裸地

307ト/年



資料：丸山岩三「森林水分」実録林業大

災害発生の恐れ



土砂流出・土砂崩壊の危険性が！

このままだと...

現状



植林されない放棄地が増加

税導入後のイメージ



森林が回復し、将来にわたり、公益的機能が期待されます。